

参考資料3：2.8 要因8：AGF 打設方法に関する参考検討

標準断面から大断面へのすりつけ区間において、ドリフタと一次支保との干渉を避けるために、AGF の標準打設長 12.5m(打設角度 6°) を 6.5m(打設角度 16°) とした場合、AGF の先端が岩盤境界線との離隔 2m を確保できないだけでなく、打設鋼管が鋼製支保工と干渉してしまうことが想定される。

